

## インヴァストによる KOYO 証券完全子会社化ーグループ収益力の向上と負債増加の可能性に注目

以下は、インヴァスト株式会社（証券コード：7338）の KOYO 証券株式会社の完全子会社化についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) インヴァスト（当社）は22年2月14日付で、光陽ホールディングスの子会社である KOYO 証券の全株式を取得し、完全子会社化することで基本合意したと公表した。株式譲渡契約の締結は22年3月の予定で、効力発生日は22年4月以降となる見込みである。KOYO 証券は対面営業型の証券会社で、取引所株価指数証拠金取引「くりっく株365」を提供するほか、投資信託などの販売も手掛ける。
- (2) KOYO 証券について JCR では事業の詳細を把握していないものの、完全子会社化によりグループの事業ポートフォリオは拡大し、連結ベースでみた収益力は向上する可能性がある。他方、株式の取得価額は今のところ未定であるものの、借入による資金調達を実施する場合には有利子負債が増加し、グループおよび当社の収支と財務構成にマイナスの影響を及ぼす可能性がある。JCR では今後、KOYO 証券の事業・財務、完全子会社化による財務構成への影響の程度を精査し、格付に反映させていく。

(担当) 炭谷 健志・松澤 弘太

### 【参考】

発行体：インヴァスト株式会社  
短期発行体格付：J-3

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル